

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の事業名および事業内容

事業名	実施内容
図書館パワーアップ事業	交流拠点施設「かてりえ」内にある図書館に書籍を整備。
プレミアム商品券事業	プレミアム率30%及び50%の商品券を発行し村内経済の活性化を図ることができた。
椎葉村国民健康保険病院会計補助事業	感染防止対策にかかる消耗品や備品並びに、発熱外来の改修を行うことにより、院内感染防止に努めた。
林業従事者担い手対策事業	素材生産に関連がない公有林管理作業路開設及び間伐事業を実施することにより、木材市場価格の下落が続いた素材生産者（林業事業体）の従業員の雇用継続を図ることができた。
椎葉の花き生産維持支援対策事業	花き種苗購入経費の2/3を補助することで、花きの需要減退に伴う単価低迷等の影響を受ける農家を支援することができた。
議会オンラインシステム導入事業	公共機関での感染機会を低減するため、議員用にタブレットを配布し遠隔での委員会を実施する。
公共的空間安全・安心確保事業	公共施設等にマスク、非接触体温計などの消耗品及び、加湿空気清浄機やサーモグラフィックカメラなどの備品を購入し、感染防止対策に努めた。
多様な情報発信システムの構築事業	住民向けの多様な情報発信システム（メール、FAX、LINE等）を構築することで、住民へ迅速な情報伝達が可能
電子入札システム導入事業	参集型入札での接触機会を減らすため。電子入札システムの導入（宮崎県電子入札システム共同利用）を行った。
感染症対策休業等協力金支給事業	休業要請協力金として1事業所当たり50,000円を17事業所に支給した。
観光客回復促進対策観光施設改修事業	村内観光トイレ3施設を非接触型トイレに改修した。
観光拠点景観改善対策整備事業	観光拠点であるダム湖周辺の樹木を伐採し、景観整備に努めた。
リモート会議環境整備事業	庁舎及び保健センター内にリモート会議が実施可能な環境を整備した。
椎葉村総合保健センターすこやか館コロナ対策改修事業	保健センター内の空調施設及び検査室の改修等を行った。
公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	村内小中学校にWi-Fi環境の整備等を行った。
公立学校情報機器整備事業	村内小中学校にタブレット220台（1人1台）の整備を行った。
公立学校情報機器整備費補助金	遠隔授業用として、村内小中学校にウェブカメラ及びスピーカーの整備を行った。
家庭学習のための通信機器整備支援事業	同上。
GIGAスクール構想事業	村内小中学校に整備したタブレット用のインカム及びタブレット保護ケースの整備を行った。
小学校教師指導書用デジタル教科書購入事業	小学校全学年に対し指導用デジタル教科書を行った。
中学校寄宿舎における感染拡大防止事業	寄宿舎に感染防止対策消耗品や空気清浄機等の整備を行った。
学校保健特別対策事業費補助金	村内小中学校の感染防止対策として消毒液やマスクなどの感染予防消耗品の整備を行った。
新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止対策事業	庁舎及び保健センター等の各種検診実施会場にサージカルマスクや非接触型体温計、アクリルパーティションなどの感染予防対策消耗品の整備を行った。